

第72回全国連合小学校長会総会文部科学大臣 祝辞

本日、第72回全国連合小学校長会総会の開催にあたり一言御挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、長期間にわたる学校の臨時休業が続いており、この四月に進学・進級を迎えたにもかかわらず、学校に通えない日々を送っている全国の子供たちは、感染症や先行きが見通せない不安、ストレスにさらされ、これまで経験したことがない苦勞をしていることは、本当に心苦しく、胸が痛む思いです。

皆様方におかれては、長期間の臨時休業中、子供たちの学習指導や心のケアなどに御尽力いただき、心から感謝申し上げます。

今後、地域や学校の実情に応じて、学校の段階的な再開が進んでいくものと推察します。学校再開後においては、感染拡大防止に十分配慮しながら、子供一人一人の状況を丁寧に把握し、指導を充実していくことが重要です。

本年度から、新しい学習指導要領が全面実施となりました。子供たちが予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を育むために、子供たちの学びを止めるわけにはいきません。

文部科学省としては、感染症対策と子供たちの学びの保障のための取組を、一層しっかりと進めていきたいと考えています。

さて、令和元年4月に中央教育審議会へ諮問しておりました、新しい時代の初等中等教育の在り方については、12月に論点が取りまとめられました。多様な子供たちを誰一人取り残すことのない個別最適化された学びが実現し、全国津々浦々の学校において質の高い教育活動を実施可能とする環境が整備されていることが、新しい時代を見据えた学校教育の姿として示されました。その実現のために、学校のチーム力を高め、学校における働き方改革を着実に進めるとともに、これからの学びを支えるICTや先端技術の効果的な

活用、義務教育9年間を見通した教科担任制の在り方などについて検討を深めていくことが必要とされています。今後の審議の状況に応じ、新時代における子供たちの学びを実現するために、文部科学省として取り組んでまいります。

皆様方には、これからも子供たち一人一人が輝き成長できるよう、引き続き御尽力いただくことを強く願っています。

結びに、全国連合小学校長会のますますの御発展と、皆様の一層の御活躍を祈念いたしまして、御挨拶といたします。

令和2年5月27日

文部科学大臣 萩生田 光一